

楽々Excel-kintone 連携ツール V2.3 使い方

2018/6/25

NCSサポート&サービス株式会社

目次

1. 事前におこなうこと	3
2. メニュー画面の表示	3
3. 接続パラメータの設定	3
4. 「一覧生成」の操作法	5
(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集	5
(2) 連携帳票シートの生成と編集	6
(3) 連携帳票シートの切り出し(一覧)	7
(4) 連携帳票シートの利用(一覧)	7
(5) 補足事項	7
5. 「単票生成」の操作法	8
(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集	8
(2) 連携帳票シートのフォーマット作成(業務シートのコピー等)	8
(3) 連携帳票シートの項目設定	8
(4) 連携帳票シートの項目設定完了	10
(5) 連携帳票シートの切り出し(単票)	10
(6) 連携帳票シートの利用(単票)	10
(7) 項目設定の補足	11

※ このドキュメントは、Excel-kintone連携アドイン Ver 2.3 以降に対応しています。

楽々Excel-kintone連携ツール(V2.3) 使い方

このツールは、Excel-kintone連携アドインを使って、kintoneのクラウドアプリと連携してデータの取得、登録／更新のできるExcelシートを簡単に作成できるツールです。簡単な操作で、Excel-kintone連携の設定シートを作成することができ、定型的な一覧表や、単票のフォーマットで対象Excelシートを生成できます。（設定シートそのものは誤操作を避けるため非表示としています）作成した対象Excelシートは、サイズや体裁、見出しなどを整えて、そのまま業務に利用できます。

※ 「Excel-kintone連携アドインV2.3導入・評価手順書」もあわせてご覧ください。

1. 事前におこなうこと

- ①まずkintoneとスタンダードコースで契約し(試用でも可)、kintoneアプリを作成してください。
作成したアプリのURL、ログイン名、パスワードが必要となります。
- ②Excel-kintone連携アドインを入手し(試用でも可)、PCにインストールしてください。
ライセンスキーが必要となります。
※標準のインストール先でない場合、本ツールの参照設定の変更が必要です。
参照設定の変更方法は「導入評価手順書」をご覧ください。

2. メニュー画面の表示

本ツールのメニュー画面です。一覧表を作るか、単票を作るかを決め、どちらかのボタンを押下します。

楽々Excel-kintone連携ツール(連携帳票作成機能) Ver.2.3

Diagram illustrating the tool's functionality:

- kintone** (Cloud Database) provides data (レコード1, レコード2, レコード3).
- The tool generates two types of Excel spreadsheets:
 - 単票 (1レコード/1シート)**: A single record per sheet, showing fields like XX, YY, and ZZ.
 - 一覧表 (複数レコード/1シート)**: A table view showing multiple records per sheet, with columns for XX, YY, and ZZ.
- Arrows indicate that the tool can export data from kintone into either format.

単票(1レコード/1シート)、一覧表(複数レコード/1シート)のどちらにも対応できます。

- ・ kintoneと連携して、データ検索、更新が可能なExcelの連携帳票が簡単に作成できます。
- ・ レコードを一覧表で表示する「一覧表」形式と、1レコード／1帳票の「単票」形式のどちらも作成できます。
- ・ 「単票」形式では、既存のExcel帳票を、レイアウトをそのままにkintoneの項目と連携させることができます。
- ・ 完成したExcelシートは、必要なシートだけを別ブックに切出すことができます。

3. 接続パラメータの設定

連携するkintoneとの接続パラメータを設定します。一度設定して保存すれば、アプリやユーザを変更しない限り、再設定は不要です。また、一覧作成、単票作成とも、同じ接続パラメータが使用されます。

接続パラメータは、一覧作成または単票作成の画面の上部にある「接続設定」ボタンで設定します。
(一覧用、単票用のどちらで設定してもかまいません。設定は共有されます)

[illegible]

接続情報設定シートが開くので、アプリケーションIDとサブドメイン、ログインユーザ名、パスワード、連携アドインのライセンスキーを入力し、「次へ」ボタンを押します。

接続情報設定

1.連携するkintoneのアプリケーションIDと、サブドメイン名を設定します。(必須)

アプリケーションID

サブドメイン (例: xxxx.cybozu.com)

※上のBOXに手入力するか、Internet Explorerでkintoneアプリを表示させ、「IEより取得」ボタンで取得して下さい。

※ ゲストスペースのアプリの場合は、サブドメインの最後に「#スペースID」を追加して下さい。

2.kintoneに接続するユーザIDとパスワードを設定します。(任意)
(設定しない場合は、毎回起動時に入力が必要となります)

ユーザID

パスワード

3.kintone接続にBASIC認証を利用する場合は、そのユーザIDとパスワードを設定します。(任意)
※BASIC認証が必要だが、設定せずに毎回入力させたい場合は、下記のユーザID、パスワードは空白のままとし、毎回入力に「YES」を選択して下さい。

ユーザID

パスワード

毎回入力

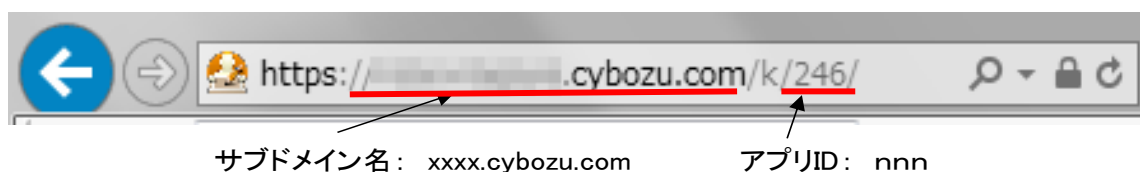
4.Excel-kintone連携アドインのライセンスキーを設定します。(必須)

ライセンスキー

5.設定が完了したら、次へボタンを押下して下さい。

次へ

※ アプリケーションIDとサブドメインは、対象とするkintoneアプリを Internet Explorer で表示しておけば、「IEより取得」ボタンで自動的に取得可能です。そうでない場合はアプリのURLより手入力してください。



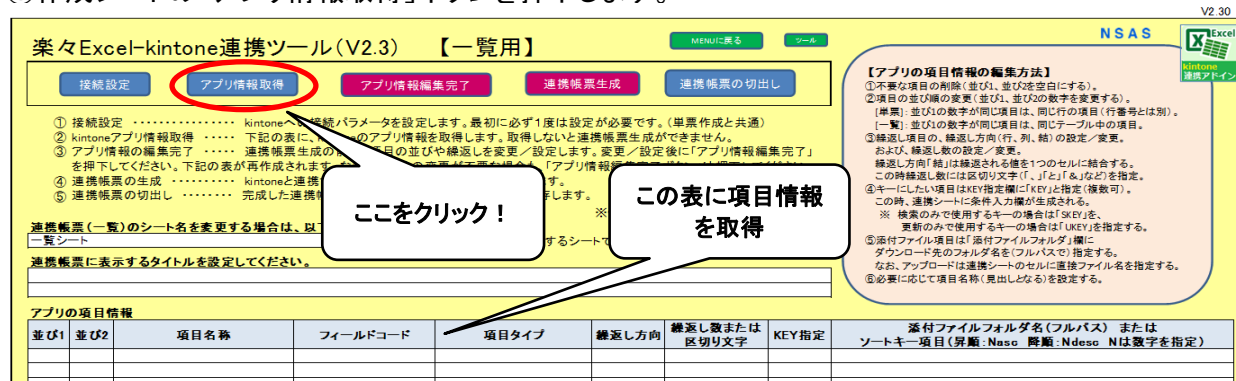
※ ログインユーザ名、パスワードは省略できます。省略した場合は、Excel連携を起動するたびに、ログイン画面が表示されて、毎回入力する必要があります。

4. 「一覧生成」の操作法

接続設定が終われば、「一覧生成」「単票生成」で、アプリ情報を取得し、連携帳票を生成できます。
以下、「一覧生成」の操作法を説明します。

(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得と編集

①作成シートの「アプリ情報取得」ボタンを押下します。



②各項目の名称、フィールドコード、項目タイプ、繰返しの設定、KEY指定、その他が初期設定されます。

③「並び1」「並び2」を修正して、不要な項目を削除したり順番を変更します。(必要であれば)

- ・不要な項目は「並び1」「並び2」を空白にします。
- ・項目の順番は「並び1」の番号を修正します。小さい番号から順に並び替えられます。番号は連番でなくてもよく、途中が飛んでいてもかまいません。
- 「並び2」は同じ「並び1」の中で、テーブル内の項目や同じ行内での項目の並び順を示します。

(例)

- ・工場名は不要。
- ・部員テーブル中の社員コードは不要。
- ・部門名を先にし、部門コードを後に。

この場合、右のように修正する。

並び1	並び2	項目名称	並び1	並び2	項目名称
1		部門コード	2		部門コード
2		部門名	1		部門名
3		工場名			工場名
4		部員テーブル	4		部員テーブル
4	1	社員コード			社員コード
4	2	社員名	4	2	社員名

④繰返し項目の繰返し方向と繰返し数を決めます。

チェックボックスや複数選択、テーブルや添付ファイルは繰返し項目です。
繰返し数の初期値は1となっています。つまり複数あっても1つだけが取得される設定です。
これを実際のデータに合わせて、適当な数字に修正します。
例えば「列」「3」では、列方向に3つのセルを確保して、そこに最大3件までのデータが入ります。
「行」「5」では、行方向に5行確保し、そこに最大5件までのデータが入ります。
指定した数字より実際のデータが多い場合は、指定した件数だけが入り、それ以上のデータはあっても無視されます。逆に少ない場合は、空白が入ります。

項目名称	繰返し方向	繰返し数または区切り文字
社員テーブル	列	3
社員コード		
社員名		

この数字を、必要な列または行の数に修正します。繰返し方向の指定により、連携対象シートにそれだけの列／行が確保されます。

連携シートではこうなる

社員テーブル(1)		社員テーブル(2)		社員テーブル(3)	
社員コード	社員名	社員コード	社員名	社員コード	社員名

テーブルの中にさらに繰返しがある場合

項目名称	繰返し方向	繰返し数または区切り文字	家族構成(1)			家族構成(2)		
家族構成	列	2	名前	趣味(1)	趣味(2)	名前	趣味(1)	趣味(2)
名前								
趣味	列	2						

⑤登録／更新を行う場合は、レコードをユニークに識別できる項目の「キー項目」の列に

「KEY」と入力してください。1項目だけでは絞り込めない場合、1つに絞り込めるように複数の項目をKEYとしてください。

他に適当な項目がない場合は、レコード番号の項目をKEYとしてください。

KEYと指定した項目は、データ取得においても、絞り込みのための条件項目として利用されます。

※ 検索のみで使い、登録／更新の識別には使わないキー項目の場合は「SKEY」と、登録／更新のみで使い、検索条件にはしないキー項目の場合は「UKEY」と指定することが可能です。

項目名称	KEY指定
役職	KEY
所属	KEY
氏名	KEY

その値(複数の組み合わせでも可)によってレコードを1つに絞り込める項目に「KEY」と指定します。

項目名称		添付ファイルフォルダ名(フルパス) または ソートキー項目(昇順:Nasc 降順:Ndesc Nは数字を指定)
添付ファイル		C:\temp

⑨修正完了後は **アプリ情報編集完了** ボタンを押下して修正を反映させます。**(忘れないでください!)**
並び順を変更したり、項目を削除対象にした場合、このボタン押下で画面上にも変更が反映されます。

V2.3
Excel
kintone
連携アプリアン

楽々Excel-kintone連携ツール(V2.3) 【一覧用】

接続設定
アプリ情報取得
アプリ情報編集完了
連携帳票生成
連携帳票の切出し

① 接続設定 kintoneへの接続パラメータを設定します。最初に必ず1度は設定が必要です。(単業作成と共通)

② kintoneアプリ情報取得 下記の表に、kintoneのアプリ情報を取得します。取得しないとい連携帳票生成ができません。

③ アプリ情報の編集完了 連携帳票生成の前に、項目の並びや繰返し数を変更・設定します。変更・設定後に「アプリ情報編集完了」を押下してください。下記の表が再作成されます。なお、取得後の変更が必要な場合も、「アプリ情報編集完了」を押下してください。

④ 連携帳票の生成 kintoneと連携するExcelシート(「一覧シート」)を生成します。

⑤ 連携帳票の切出し 完成した連携帳票をツールから切り出して別ブックに保存します。

連携帳票(一覧)のシート名を変更する場合は、以下にシート名を入力してください。
 一覧シート

ここをクリック！

アプリの項目情報

並び1	並び2	項目名称	フィールドコード	項目タイプ	繰返し方向	繰返し数または区切り文字	KEY指定	添付ファイルフォルダ名(フルパス) または ソートキー項目(昇順:Nasc 降順:Ndesc Nは数字を指定)
1		作成日時	作成日時	CREATED TIME				
2		部署	ドロップダウン	DROPDOWN				
3		作成者	作成者	CREATOR				
4		活動報告	文字列 複数行	MULTILINE TEXT				
5		目標達成度	ラジオボタン	RADIO BUTTON				
6		ジャンル	ラジオボタン 0	RADIO BUTTON				
7		タイトル	文字列 1行	SINGLE LINE TEXT				
8		アイデア	文字列 複数行 0	MULTILINE TEXT				
9		添付ファイル	添付ファイル	FILE	列		3	C:\temp
10		レコード番号	レコード番号	RECORD NUMBER			KEY	
11		リビジョンNo.	\$revision	REVISION				

The screenshot shows the 'データ取得' (Data Acquisition) screen. At the top, there are buttons for 'データ取得' (Data Acquisition) and '登録/更新' (Registration/Update). Below these is a form for '検索条件:' (Search Conditions) with a 'レコード番号' (Record Number) field. The main area contains a table with the following columns: '作成日時' (Creation Date), '部署' (Department), '作成者' (Creator), '活動報告' (Activity Report), '目標達成度' (Goal Achievement), 'ジャンル' (Genre), 'タイトル' (Title), 'アイデア' (Idea), '添付ファイル' (Attached File), 'レコード番号' (Record Number), and 'バージョン' (Version). The '作成者' column is further divided into 'コード' (Code) and '名前' (Name). The '添付ファイル' column has sub-columns labeled (1), (2), and (3). The 'レコード番号' column has a sub-column labeled 'No.'. At the bottom, there is a navigation bar with tabs: 'MENU', '接続情報', '一覧作成', '単票作成', '一覧' (selected), '単票シート', and '検索'. A red arrow points from the 'データ取得' button to the '一覧' tab.

社員マスター

データ取得

登録/更新

所属コード

社員番号

絞込条件:

KEY指定した項目が絞込み条件入力用に設定されます。

所属コード	所属	社員番号	氏名	入社年月日	業務スキル	得意先(1)		得意先(2)		得意先(3)		レコード番号	リビジョンNo.
						名称	担当者	名称	担当者	名称	担当者		
					(1) (2) (3)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)				

6

(3) 連携帳票シートの切り出し(一覧)

生成した連携対象シートは、楽々ツールから切り出して、業務用のExcelブックを作成することができます。切出されたブック名は連携シート(一覧)の名前と同じになり、楽々ツールと同じフォルダへ出力されます。

楽々Excel-kintone連携ツール(V2.3)【一覧用】

MENUに戻るツール

接続設定アプリ情報取得アプリ情報編集完了連携帳票生成**連携帳票の切出し**

① 接続設定 kintoneへの接続パラメータを設定します。最初に必ず1度は設定が必要で、一度設定後は共通です。
② kintoneアプリ情報取得 下記の表に、kintoneのアプリ情報を取得します。
③ アプリ情報の編集完了 連携帳票生成の前に、項目の並びや線返しを修正する場合は、このボタンを押下してください。下記の表が再作成されます。なお、取得後の変更が不要な場合は、このボタンを押下してください。
④ 連携帳票の生成 kintoneと連携するExcelシート(「一覧シート」)を作成します。
⑤ 連携帳票の切出し 完成した連携帳票をツールから切り出して別ブックに保存します。
※何度でもやり直して設定変更ができます。

連携帳票(一覧)のシート名を変更する場合は、以下にシート名を入力してください。
一覧シート

ここをクリック！

業務用ブックの切り出し

Excelブックのスクリーンショット

ブック名はシート名と同じになります。

(4) 連携帳票シートの利用(一覧)

- ①「データ取得」ボタンでデータのダウンロードができます。
入力された絞り込み条件に合致するデータがkintone側からダウンロードされます。
このとき、シート上のデータはすべて消去されて置き換わりますので注意してください。
絞り込み条件に入力していない(空白)の場合、その条件は無視されます。

【絞り込み条件の補足】

- 複数の絞り込み条件を入力すると、そのAND条件で検索されます。
- 値を1つ入力すると、その値に一致するデータが検索されます。
- 値を半角カンマで区切って複数入力すると、OR条件となり、そのいずれかに一致するデータが検索されます。
- 値の前に全角ノットイコール「≠」をつけると、NOT検索となり、その値に一致しないデータが検索されます。
- 値の前に全角ニアリイコール「≒」をつけると、LIKE検索となり、文字列にその値を含むデータが検索されます。
- 値に全角「～」を付加すると、以上、以下の検索ができます。「～A」はA以下、「A～」はA以上、「A～B」はA以上かつB以下を示します。





- ②「登録／更新」ボタンでデータのアップロードができます。
KEY項目の内容により、すでにkintone側に存在すれば更新され、存在しなければ新規登録されます。

このボタンで、検索し、データダウンロードを実行

データ取得絞り込み条件: レコード番号

登録／更新

このボタンで、データアップロードし、登録／更新を実行

作成日時	部署	作成者	活動報告	目標達成度	ジャンル	タイトル	アイデア	添付ファイル	レコード番号	リビジョンNo		
		コード	名前					(1)	(2)	(3)		
2011/08/14 16:35	開発	Administrator	Administrator	達成	IT一般	APIサンプルアプリケーション	こちらのページにAPIについていろいろと記述がございました。なかなか参考になるかと思えます。 https://○○○.~	 Dog	 Dog	 Dog	2	13
2011/08/14 16:34	開発	Administrator	Administrator	達成	その他	プレゼン	プレゼンに関する本を購入しました。短時間で読める割には、内容の濃いものになっていました。	 Dog			1	12

※ 表の罫線は見やすさのため検索後に追加したものです。

(5) 補足事項

- ①レコード番号とリビジョンNoについて
楽々ツールで生成されたシートにはレコード番号とリビジョンNoの項目が自動で設定されています。
これらは、データの更新を行う場合に必要となります。
データ取得だけを行うのであれば、不要なので削除してもかまいません。

データの更新時には、どちらも必要になります。
レコード番号は、レコードが登録されると、その1件1件を識別するためにkintoneで自動的にふられる、1つ1つ異なる固有の番号です。
この番号が同じものがあれば、既存データの更新となり、なければ新規データの登録となります。
※ レコード固有の番号なので、この項目をKEYとして指定すれば、確実に更新ができます。
リビジョンNoは、レコードが更新されるたびにkintoneがつける、更新のたびに増加する番号で、データ取得してから更新実行までに、他から更新されて内容が変わっていないかのチェックに使われます。
更新時にすでに他で更新され、リビジョンが上がっていた時はエラーとなりますので、再度データを取得してからやり直してください。

- ②ファイルのダウンロードについて
楽々ツールでダウンロードするファイル名はkintone上のファイル名と同じになり、フォルダは指定したダウンロードフォルダとなります。
このため、kintone上で同じファイル名であれば、同一ファイルとして上書きされるので、ご注意ください。

5. 「単票生成」の操作法

V2.3から、「単票生成」では、固定的なフォーマットでなく、実際の業務のExcelシートを対象シートとしてkintoneアプリの項目と連携することができます。

(1) 設定パラメータへのkintoneアプリ項目情報の取得

①最初に、作成シートの「アプリ情報取得」ボタンを押下します。

楽々Excel-kintone連携ツール(V2.3) 【単票用】

① 接続設定 kintoneへの接続パラメータを設定します。最初に必ず1度は設定が必要です。(一覧作成と共通)

② kintoneアプリ情報取得 kintoneのアプリ情報を取得します。取得しないと連携帳票生成ができません。なお、このボタンを押すと、連携帳票設定の情報はクリアされ、最初からやり直すことができます。

③ 連携帳票項目設定 連携帳票とするシートをこのツールから取得してください。あるいは一からシートを新規追加してもかまいません。(1レコード/1シートの単票形式として下さい)

その後、連携帳票のシート名を入力し、連携帳票項目設定してください。kintone項目との関連を設定します。連携帳票項目設定は何度でも実行できます。

④ 連携帳票設定完了 全ての項目設定が完了し、添付ファイルフォルダ名などを確認し、必要なら修正します。

※ これで連携帳票が完成です。検索はExcelの「アドイン」から実行します。「登録／更新実行」をクリックすれば、現在のデータがkintoneへ登録／更新されます。

⑤ 連携帳票の切出し 完成した連携帳票をツールから切出し、必要に応じてExcelに保存します。

連携帳票(単票)のシート名を変更する場合は、以下にシート名を入力してください。

単票シート

アプリの項目情報

開始行	開始列	終了行	終了列	レベル	項目名称	フィールドコード	項目タイプ	検索し方向	検索し数または区切り文字	KEY指定

【アプリの項目情報の編集方法】

「単票用」ではマウスで項目を対応づけるため、編集できるのは以下のみです。

① 検索キーにしたい項目はKEY指定欄に「KEY」と指定(複数可)。

※ 検索のみで使用するキーには「KEY」を指定することができません。

② 添付ファイル項目は「添付ファイルフォルダ」欄にダウンロード先のフォルダ名を(フルパスで)指定する。

③ 検索結果が複数になる時のソート順を、ソートキー項目に指定する。

(例: 2000)

Microsoft Excel

アプリ情報の設定が完了しました。

OK

②アプリの各項目の名称、フィールドコード、項目タイプなどの情報が取得されます。
正常に情報取得されれば、右のダイアログが表示されます。
※ 単票生成の場合、この時点では項目情報の表は空白のままです。

(2) 連携帳票シートのフォーマット作成(業務シートのコピー等)

①楽々ツールに、kintoneと連携させたい業務のシートをコピーします。あるいは、白紙のシートに新規にフォーマットを作成してもかまいません。

②作成したシートのシート名を、「連携帳票のシート名(単票)」の欄に入力しておきます。

例えばこのようなシートを作成し、シート名を「単票シート」としたなら、

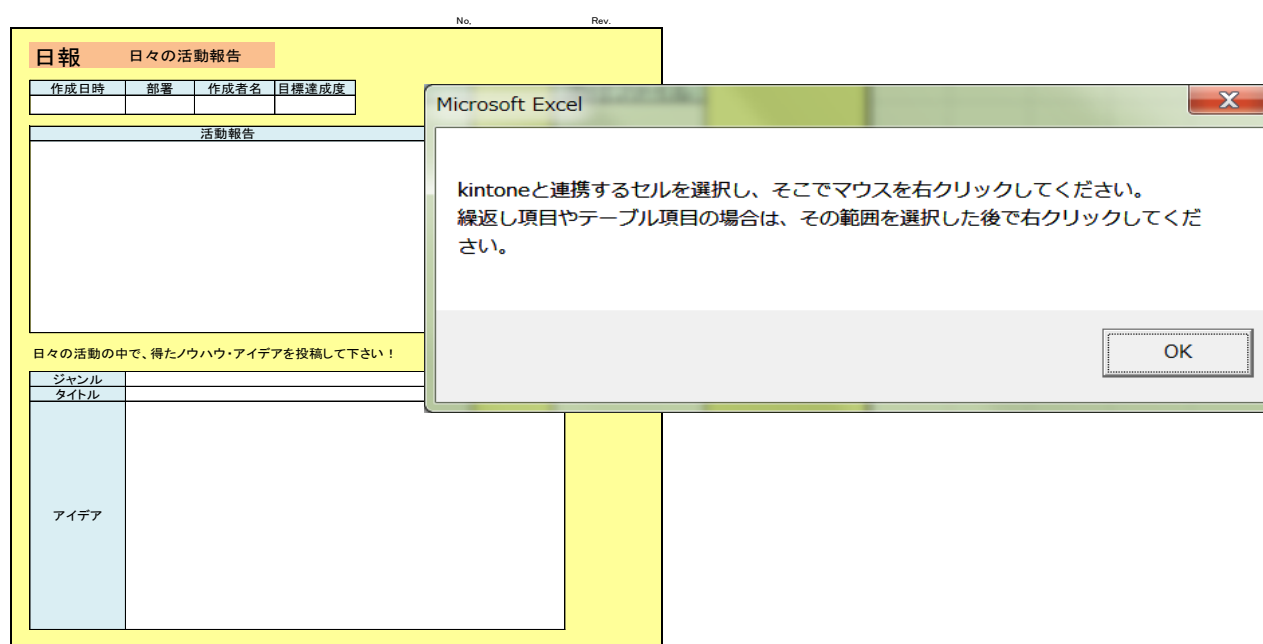
ここに「単票シート」と、シート名を入力してください。



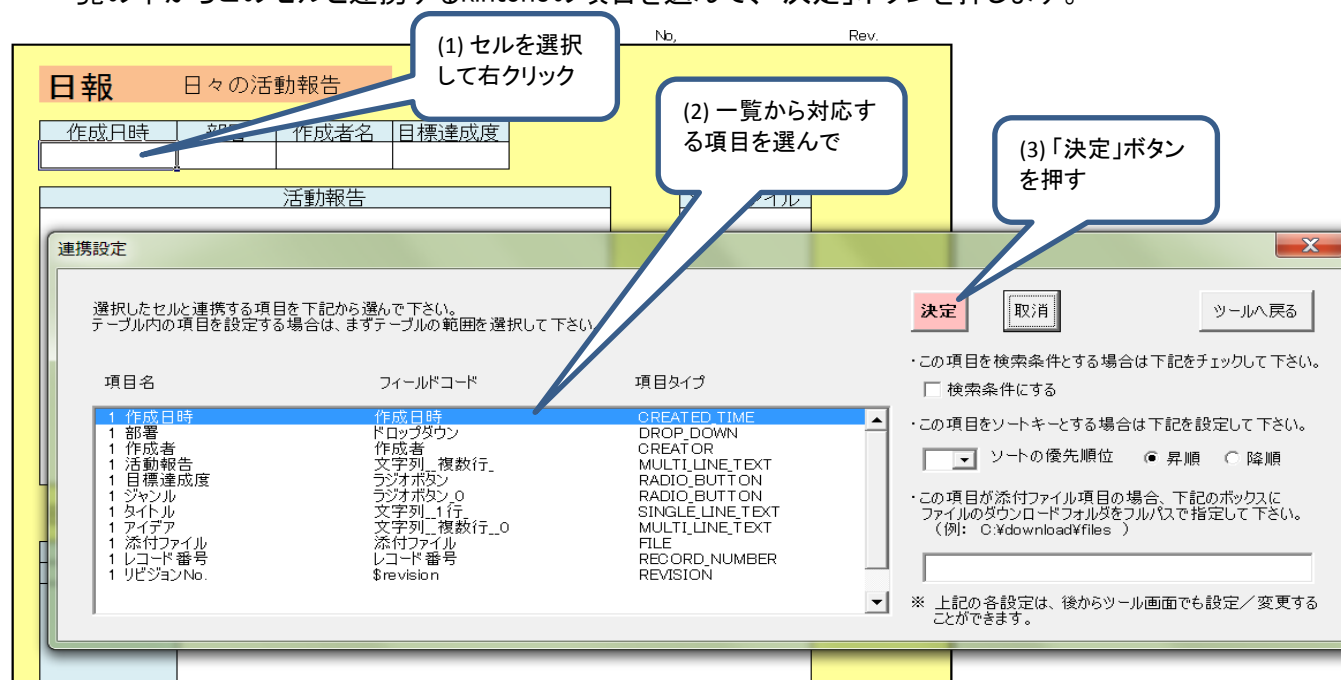
(3) 連携帳票シートの項目設定

①「連携帳票項目設定」のボタンをクリックします。

②連携帳票シートが表示され、ダイアログが表示されます。



③シートのセルを選択し、マウスで右クリックをすると、連携設定のダイアログが表示されます。一覧の中からこのセルと連携するkintoneの項目を選んで、「決定」ボタンを押します。



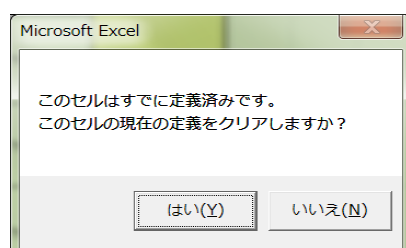
④これを繰返し、最後に「ツールへ戻る」ボタンを押すと「単票生成」画面に戻ります。

※ いったん「単票生成」画面に戻っても、「連携帳票設定完了」を押す前であれば、「連携帳票項目設定」ボタンを押すことで、項目設定を続けることができます。

※ 間違ったセルで右クリックした時は、「取消」ボタンでダイアログを消してやり直せます。

※ 設定済みのセルには、kintoneのフィールドコードが表示されます。

※ 設定済みのセルを右クリックした時は、定義済みのダイアログが表示されます。



「はい」をクリックすると、そのセルの設定が取り消され、あらためてそのセルの設定をやり直すことができます。

「いいえ」をクリックした時は、セルの設定は変更されません。

(4) 連携帳票シートの項目設定完了

①全ての項目を設定完了したら、「連携帳票設定完了」ボタンを押下します。

ここをクリック

※ マウス右クリックで項目設定を行うたびに、単票生成の項目情報の表には、設定した項目が追加されています。

②完了のダイアログが表示され、以後、連携シートはkintoneと連携して検索・更新ができるようになります。

③帳票のレイアウト変更など、設定を最初からやり直す場合は、「アプリ情報取得」から再実行してください。

(5) 連携帳票シートの切り出し(単票)

生成した連携対象シートは、楽々ツールから切り出して、業務用のExcelブックを作成することができます。切出されたブック名は連携シート(単票)の名前と同じになり、楽々ツールと同じフォルダへ出力されます。

ブック名はシート名と同じになります。

(6) 連携帳票シートの利用(単票)

単票の連携シートは、Excelブックの「アドイン」タグを選択し、ツールバーの「検索実行」「登録／更新実行」のコマンドをクリックすることで、kintoneデータのダウンロードやアップロードができます。

アドインタグ

ここに実行コマンドが表示されます

①検索の実行

ツールバーの「検索実行」コマンドをクリックすると、下記の検索ダイアログが表示されます。

項目設定で「検索条件にする」をチェックした項目が、検索条件として表示されます。検索条件の指定規則については、一覧と同じです。「連携対象Excelシートの利用(一覧)」の①を参照してください。

ダイアログの「検索実行」ボタンを押下すると、検索が実行され、検索条件に一致するkintoneのデータが、連携シートに取得されます。

検索条件に合致するデータが複数ある場合は、「次へ」「前へ」ボタンで、1件ずつ送っていくことができます。この時のデータの順番は、項目設定で「ソートの優先順位」として指定した内容に従います。

この「次へ」「前へ」で1件ずつデータをデータを選択できます。

「完了」ボタンを押すと、ダイアログが消去されます。

※「完了」ボタンを押すまでダイアログは消去されません。画面の裏に隠れている場合がありますので、注意してください。

※データが見つからない場合は、「0件のデータが検索されました」と表示されます。

②登録／更新の実行

ダイアログの「登録／更新実行」コマンドでデータのアップロードができます。KEY項目の内容により検索され、すでにkintone側に存在すれば更新、存在しなければ新規登録されます。

※ 登録／更新を行うには、シートに「レコード番号」と「リビジョンNo.」の項目が必要です。

(7) 項目設定の補足

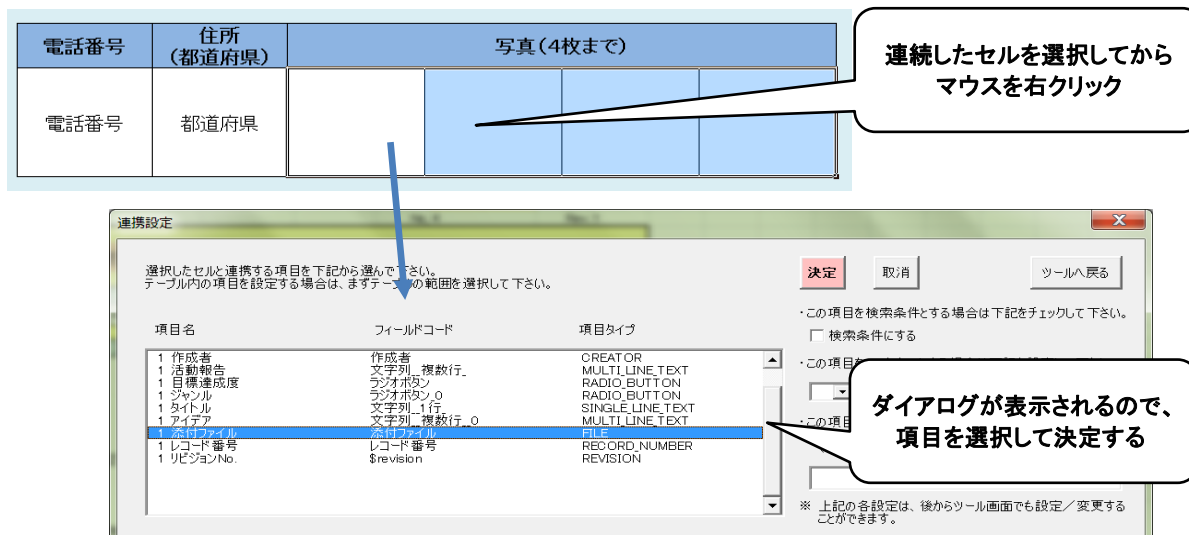
項目のタイプによって、マウスで項目設定する際にはいくつかの注意事項があります。

項目種別	kintoneアプリのタイプ (詳しくはアドインマニュアル別紙を参照のこと)	結合セル への設定	連続した複数 セルへの設定	検索条件 の設定	ソートキー の設定
単独項目(テーブル外)	SINGLE_LINE_TEXT、NUMBERなど	○	×	○	○
単独項目(テーブル内)	同上	×	×	○	×
作成者・更新者	CREATOR、MODIFIER	×	×	×	×
繰返し項目	CHECK_BOX、MULTI_SELECT	×	○	○	×
添付ファイル	FILE	×	○	×	×
ユーザ選択項目	USER_SELECT、GROUP_SELECTなど	×	○	×	×
サブテーブル	SUBTABLE	×	○	×	×

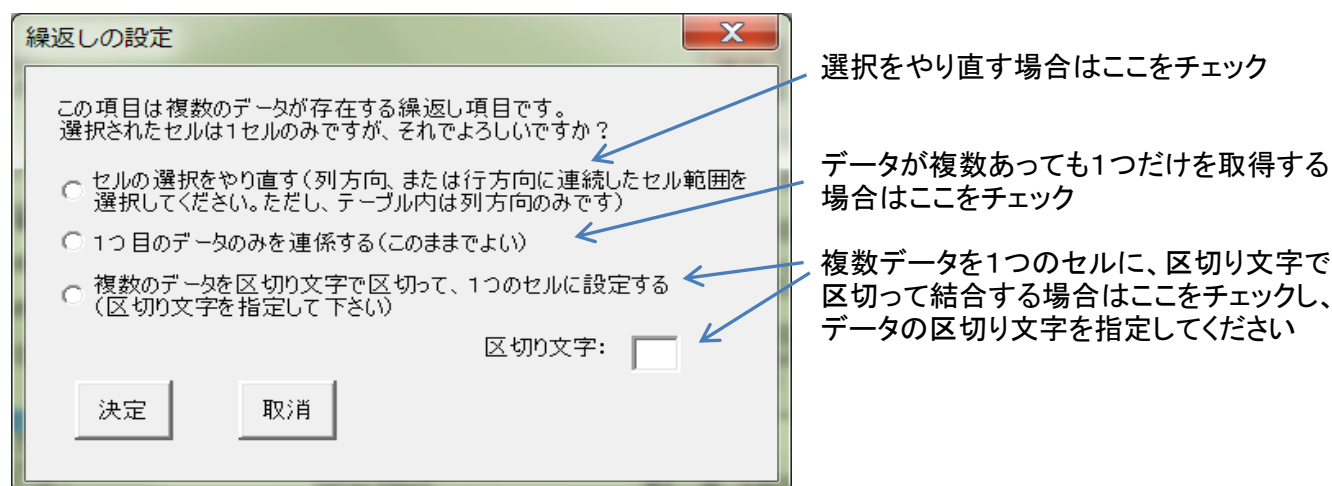
① 繰返し項目の設定

チェックボックス、複数選択、添付ファイルなど、1つの項目に複数のデータが存在する項目では、マウスで縦または横に連続したセルを選択してから、右クリックしてダイアログを表示させます。

- ※ 複数データがあっても最初の1つだけを取得する場合は、1セルのみの選択でかまいません。
- ※ 登録・更新では、選択したセルの数が、その項目に登録できるデータの最大数になるので、注意が必要です。



- ※ 添付ファイル以外の繰返し項目では、1つのセルだけを選んだ場合でも、複数データをそのセル内に結合して取得することができます。
- 繰返し項目で1つのセルだけを選んだ場合は、以下のダイアログが表示されます。



② テーブルの設定

テーブル(SUBTABLE)を設定する場合は、まずそのテーブルのデータを取得するセル範囲を選択し、右クリックして、ダイアログでSUBTABLE項目を設定します。

次に、そのテーブルの1行目にあたる行で、テーブル内の項目を選択していきます。



- SUBTABLEの項目で設定すると、選択した領域がテーブル用に確保されます。
- そのまま続けて、テーブル内に属する項目(テーブル項目の下にある、レベル2の項目)を設定していきます。
- ※ 途中で別の項目を設定すると最初からやり直しになりますので、注意してください。

テーブル内の項目は、テーブルの1行目に設定してください。

テーブル内の項目は、テーブルの1行目に設定してください。

テーブル内にある繰返し項目を設定する場合も、連続したセルを選択してからマウスを右クリック

③作成者、更新者の設定

作成者(CREATOR)、更新者(MODIFIER)の項目には、ユーザのコード(code)と名前(name)の二つの項目が含まれています。そこで、ダイアログでこれらの項目を選択した場合は、セルにそのどちらを取得するのか、「項目の選択」ダイアログで設定する必要があります。
(コードと名前は別々のセルに設定する必要があります)

更新者の項目を選んで決定すると、コードか名前かを選択するダイアログが表示されます。

④ユーザ選択の設定

ユーザ選択(USER_SELECT)、グループ選択(GROUP_SELECT)、組織選択(ORGANIZATION_SELECT)の項目は、複数データのある繰返し項目で、さらにそのデータにコード(code)と名前(name)が含まれています。複数セル領域を選択して右クリックし、ユーザ選択項目を選択すると、どのように設定するかダイアログが表示されます。

複数セルを選択して、ユーザ選択の項目を選び、決定すると、コードか名前か両方かを選択するダイアログが表示されます。